

課題番号 33

シネンシス系スターチスおよびシヌアータの 秋期生産性の向上！（秋期採花の実態把握と出荷数量の向上）

対象：北育ち元気村花き生産組合 シネンシス栽培者（61戸）・シヌアータ栽培者（93戸）

1 活動の背景

地域の現状

- ◇ 北育ち元気村花き生産組合の“シネンシス系スターチス”（以降シネンシス）、及び“シヌアータ”の出荷は全国シェア30%・40%を占める大産地である。

地域の問題

- ◇ シネンシスとシヌアータの導入株数は平成21年をピークに年々減少している。

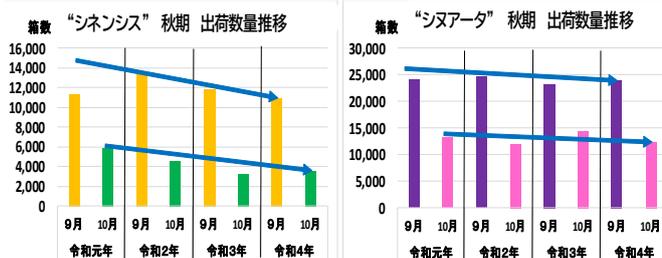
特に需要の中心である「お彼岸」向け出荷は作付の前進や2番花の品質低下により、市場からの注文量に対して納品数が不足するケースが懸念されている。



課題解決に向けた具体的な取り組み

- ◇ 秋期採花の実態把握と出荷数量の向上！
 - ★ シネンシス = 有望品種（系統）の生育確認・選定（広域連・種苗メーカー）。
 - ★ シヌアータ = シヌアータ作付推進プロジェクトチームの発足（シヌアータ部会役員・広域連・普及C）
 - ★ 共通 = 防除体系の作成 & 灰色かび病対策薬剤試験の実施。

図1 シネンシス・シヌアータの秋期出荷推移



2 活動の経過

◇ シネンシス

- ★ 次年度に向けた、有望品種を試験栽培している農業者（3戸）に対して、広域連職員や種苗メーカーとの定期的な合同巡回を実施し、生育確認や品種特性の意見交換を行った。



写真1 定期巡回の様子

◇ シヌアータ

- ★ 作付面積の拡大・生産量の増加、また産地ブランドの維持に向けて、生産者と関係機関が団結し『シヌアータ作付推進プロジェクト』（以降シヌアータPJ）が設立。【抑制作型栽培マニュアル】を作成



写真2 シヌアータPJ

◇ シネンシス&シヌアータ (共通)

- ★ 病害虫防除体系の作成
シネンシス栽培者やシヌアータ部会と連携し、防除薬剤の選定およびローテーション(案)を作成し周知した。

図2 農業ローテーション作成イメージ図



- ★ 灰色かび病対策薬剤試験の実施
多湿気象下で「灰色かび病」の発生が顕著であり、品質低下や市場からのクレームに繋がっているため、新規系統薬剤を検討した。



写真3 シヌアータ灰色かび病

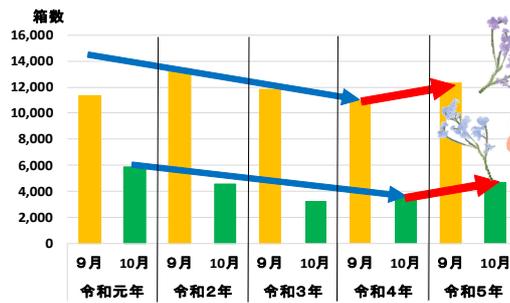


写真4 薬剤散布の様子

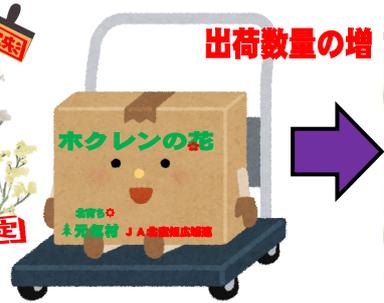
3 成果の具体的内容

◇ シネンシス

図3 シネンシス秋期
出荷数量推移



- ★ 有望品種の生育状況(草丈・採花本数・ボリューム・etc..)から40品種中2品種が選抜された。目標の5,800c/sには届かなかったが、前年より出荷数量は増加した。



出荷数量の増!

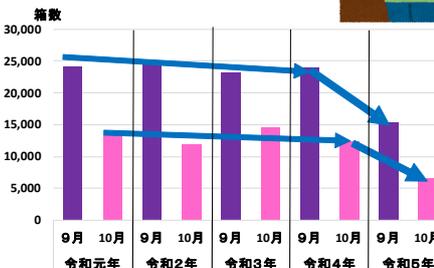
◇ シヌアータ

- ★ 抑制作型栽培マニュアルを作成し、生産者に周知し、抑制作型への理解が進んだが、6月中旬から9月までの高温・多照の気象経過のため抑制作型の立ち上がり本数は少なくなり、出荷数量は減少した。目標の12,000c/sには届かなかったが、品質は良く市場からの評価は高かった。



写真6 作成したマニュアル

図4 シヌアータ
秋期出荷数量推移



◇ シネンシス&シヌアータ (共通)

- ★ 防除薬剤およびローテーション(案)により、病害虫被害は軽減した。
- ★ 灰色かび病薬剤の選択肢が増えた。

写真7 防テーシオン(案)

4 今後の課題と対応

- ★ 秋の「お彼岸」期間の出荷数量向上への継続支援!
- ★ シヌアータPJで更なる、出荷数量向上への検討!

